



- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
- この説明書は、特別対応の「上枠クロス巻き納まり」「天井納まり」の取付け説明を含んでいます。

### ■取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

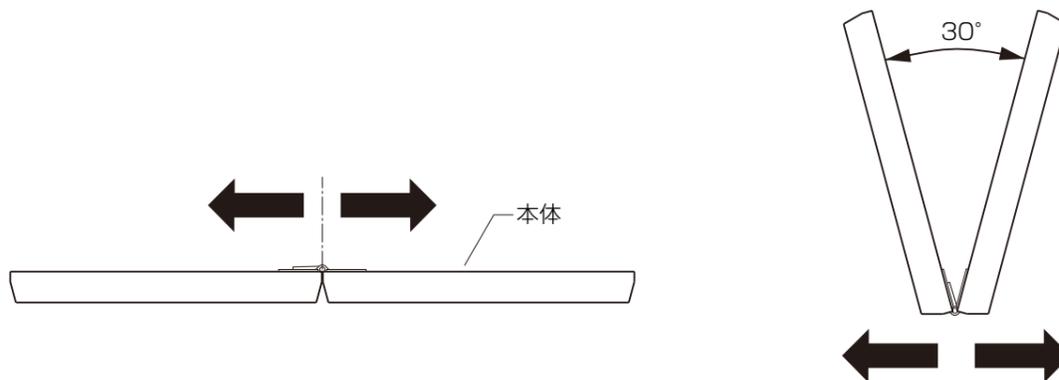
- 吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと、本体が落下するおそれがあります。

### ■本体の開閉操作上のお願い

本体を開閉する際は、下記事項を守って操作してください。

- 本体をフラットのまま移動させます。
- 30°の角度で本体が一時固定ようになっていきますので、この状態で移動させます。

※角度が30°未満の状態では移動させないでください。この場合、動きがギクシャクしたり下部のローラーがレールから外れたりする場合があります。



## ■取付け上のお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。  
かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。  
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。  
他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。  
(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。  
ただし、叩き込まないようにしてください。保持力低下の原因となります。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。  
やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 造作材・建具枠の下地材および、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 床材とツバ付薄沓ずりのすき間は5mm以内にしてください。  
ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。  
ツバ材の取付けは、ハンマーなどで強くたたき込まないようにください。
- 枠は倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。  
(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体は落下させたり、立てかけるときに衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 梁又はまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱い場合直接固定しないでください。  
必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。  
本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- フラット下レールを固定する床(下地)は、段差やすき間がないように仕上げしてから  
レールを固定してください。  
フラット下レールや埋込下枠を取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。  
フラット下レール/埋込下枠が変形し、本体開閉不具合の原因となります。
- 取付け時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ(ガムテープ、養生テープなど)を長い  
時間建具表面に直貼りしないでください。  
テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
- 本製品は上吊方式のため、梁又はまぐさで重量を受けますので、本体重量に  
耐える断面の梁又はまぐさをご使用ください。  
上枠及び、上レールの垂れ下がりの原因になります。

間口	本体重量	梁・まぐさの断面寸法(幅×高さ)
6尺	50kg	105mm×180mm以上
7尺	75kg	105mm×300mm以上
12尺	100kg	105mm×360mm以上

- 枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。
- ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。  
ガイドローラーの破損・変形により、開閉に支障がでるおそれがあります。
- 本体吊込みの際は、ガイドローラーが下レールに入っていることを確認し、ガイドローラーで枠や床面などにキズを付けない  
ようにしてください。
- フリータイプの時に、本体を折った状態で向かい合わせになる本体それぞれに把手を取付けしないでください。  
把手同士が干渉してキズが付く原因となります。  
ミラータイプの本体は、1つの枠の中に1枚のみとしてください。
- 本体の把手に重量物をぶらさげないでください。把手が壊れ落下するおそれがあります。
- 運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。
- 上枠をクロス巻き仕上げを行う場合は、必ず裏面に木工用接着剤(現場手配)を塗布してください。MDFが縮みクロスにシワが  
発生することがあります。

## ■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。  
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
  - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

■部材の明細

折れ戸本体	3方枠	4方枠	3方枠用下枠	
			埋込下枠	フラット下レール
<p>●クローゼット本体</p>	<p>●上枠</p> <p>●上レール</p> <p>●縦枠 (2本)</p> <p>●戸当り (2本)</p>	<p>●上枠</p> <p>●上レール</p> <p>●縦枠 (2本)</p> <p>●戸当り (2本)</p> <p>●下レール</p> <p>●ツバなし薄下枠</p>	<p>●埋込下枠</p>	<p>または</p> <p>●フラット下レール</p>

■本体用部品

	ガイドローラー	把手セット (ねじ付)	ガイドローラー 固定金具
W07	2	1	1
W12・16	4	2	2

■3方枠・4方枠用部品

	皿小ねじ M4×50 (枠組立て用)		トラスタッピンねじ φ4×60 (上枠躯体取付け用)	DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50 (縦枠取付け用)	ワンタッチ吊車	本体召し合わせ部品	本体召し合わせ部品 固定ねじ トラスタッピンねじ φ3.5×16
	3方枠	4方枠					
W07	4	8	4	8	2	—	—
W12・16	4	8	7	8	4	2	4

■下枠用部品

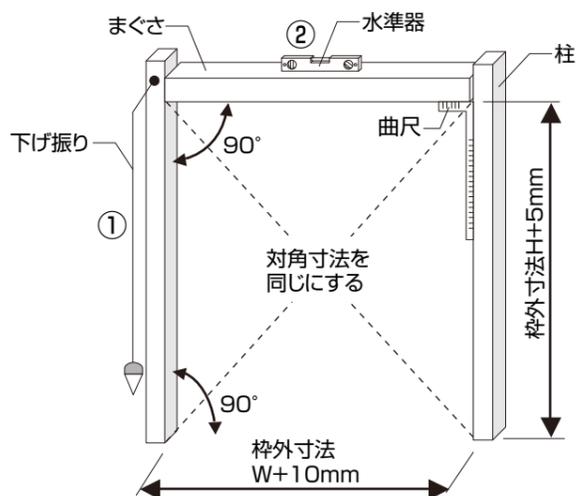
	皿タッピンねじφ4×18 (フラット下レール取付け用)	フラット下レール 端部ピース	皿木ねじ φ3.5×20 (埋込下枠取付け用)	埋込下枠 端部ピース
フラット下レールW07~W18	7	2	—	—
埋込下枠W07~W18	—	—	3	2

■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+床厚+5mm

- ① 下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ② 水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

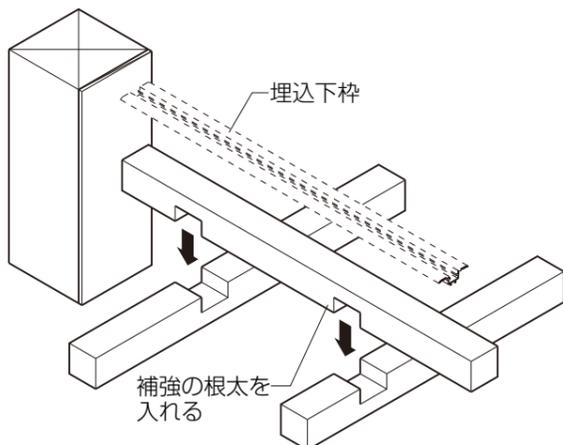


※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。

## ■床の張り方

### 1 下枠下地の確認

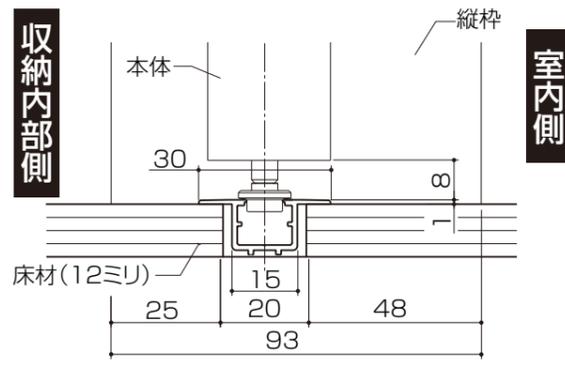
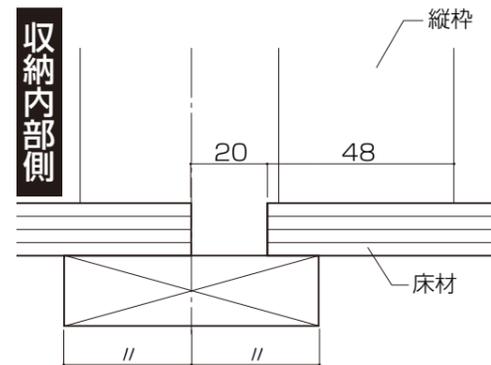
- 枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



### 2 床張り位置

#### ■床先張り(枠後付け) 【埋込下枠を使用する場合】

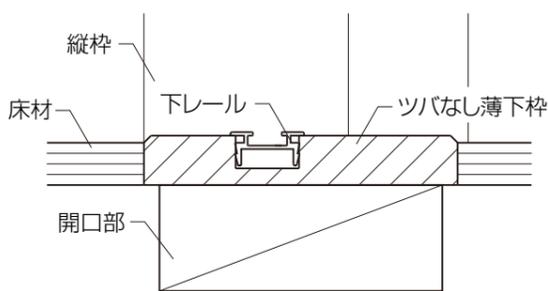
- 床材間に埋込下枠が入りますので、室内側縦枠木口からa寸法内側の位置に20mmあけて、床材を張ってください。  
※床材の間口寸法(20mm)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。



### ■床後張り(枠先付け)

#### 【ツバなし薄下枠を使用する場合】

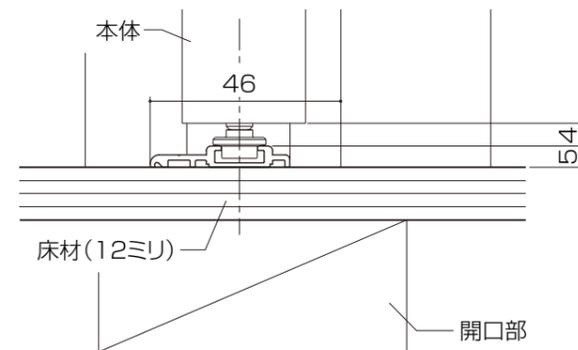
- 枠取付け後、縦枠・薄下枠にそって床材を張ってください。



### ■床載せ納まり

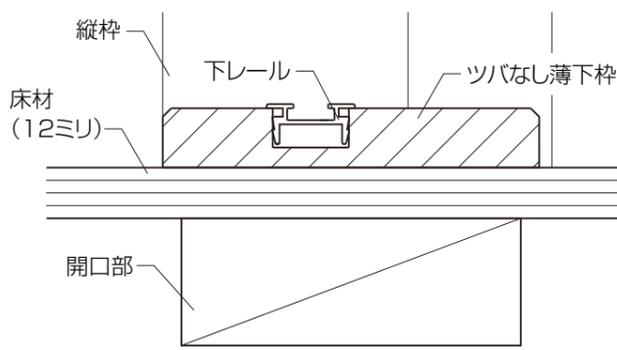
#### 【フラット下レールを使用する場合】

- 床材を張ってから枠を取付けてください。  
※床材をあけて張る必要はありません。



#### 【ツバなし薄下枠を使用する場合】

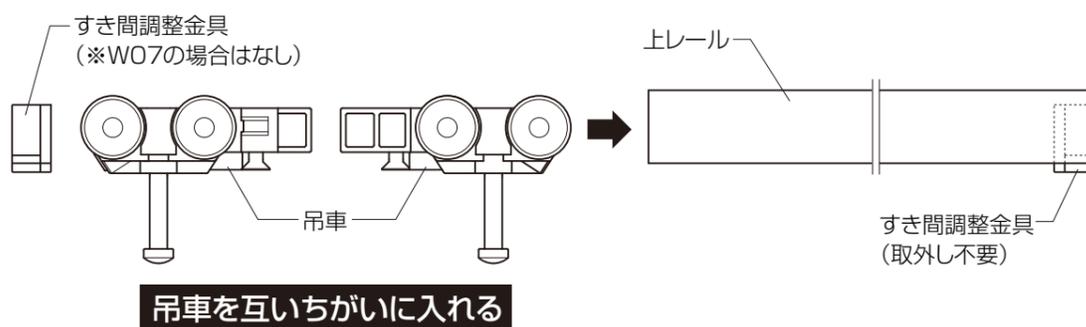
- 床材を張ってから枠を取付けてください。  
※床材をあけて張る必要はありません。



## ■取付け順序

### 1 枠の組立て

- 上レール端部(左右)に付いているすき間調整金具を片側のみ取外し、吊車を互いちがいの向きにして上レールに入れてください。  
※W07の場合は片側にしかすき間調整金具が付いていないため、取外す必要はありません。
- 吊車を上レールに入れ終わったら、すき間調整金具を元通りに取付けてください。



### ●お願い

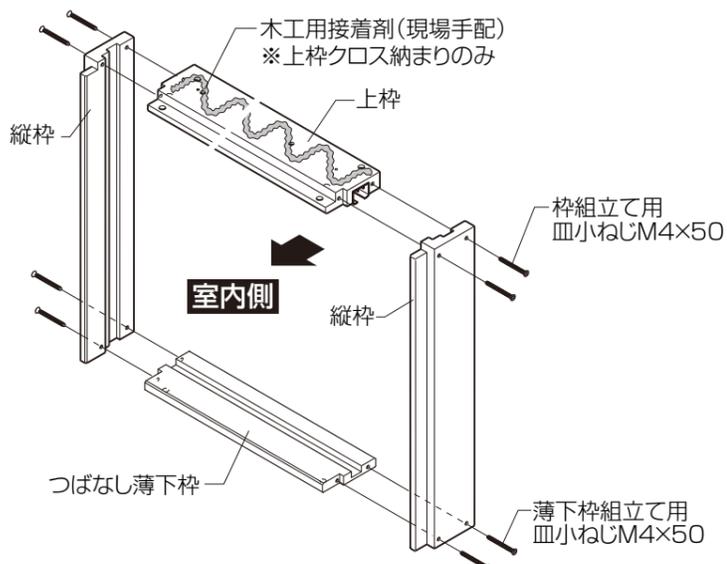
※枠組立て前に上レールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

- 下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

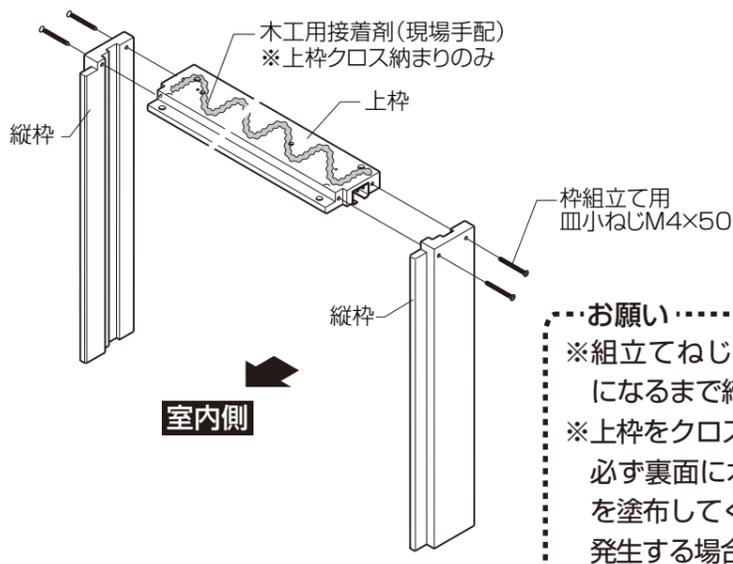
- 上枠クロス巻き納まりの場合は、上枠裏面に木工用接着剤(現場手配)を塗布してください。

※天井施工済みの場合は、3方枠組立ては行いません。

#### 【つばなし薄下枠を使用する場合】



#### 【埋込下枠又はフラット下レールを使用する場合】



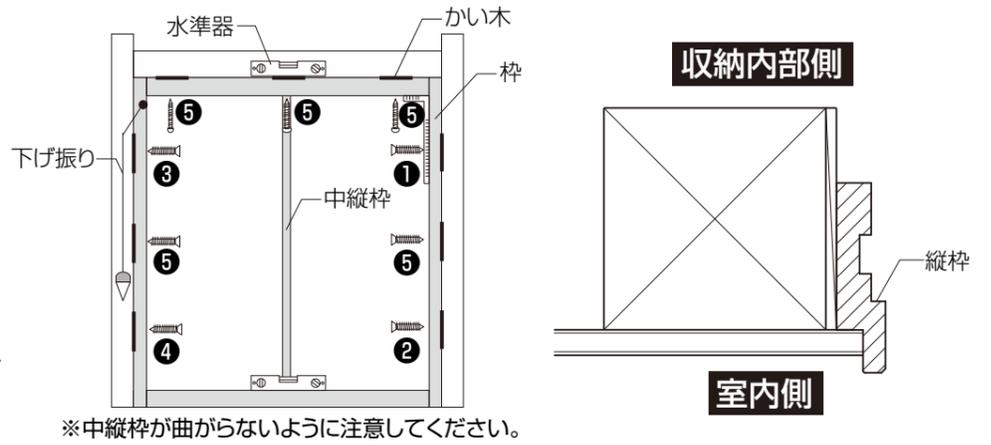
●お願い  
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。  
※上枠をクロス巻き仕上げを行う場合は必ず裏面に木工用接着剤(現場手配)を塗布してください。クロスにシワが発生する場合があります。

## 2 枠の取付け

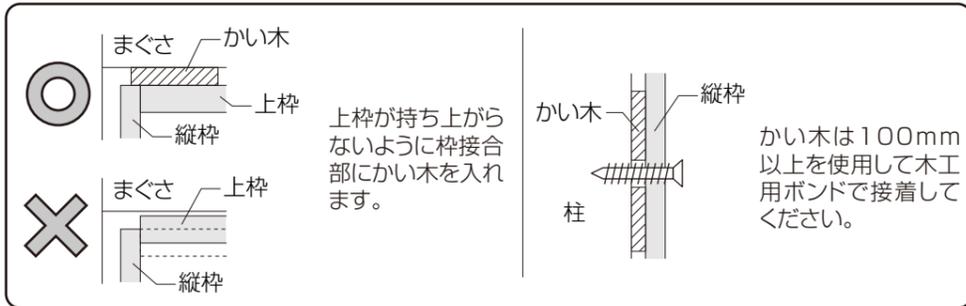
### 【標準納まり、上枠クロス巻き納まりの場合】

- ① 枠を開口部にはめこんで、下枠・上枠の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
- ② 下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
- ③ 水準器で下枠・上枠の水平を確認してから、縦枠の③を仮固定してください。
- ④ 下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
- ⑤ 枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りの⑤ねじで本固定してください。

※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。

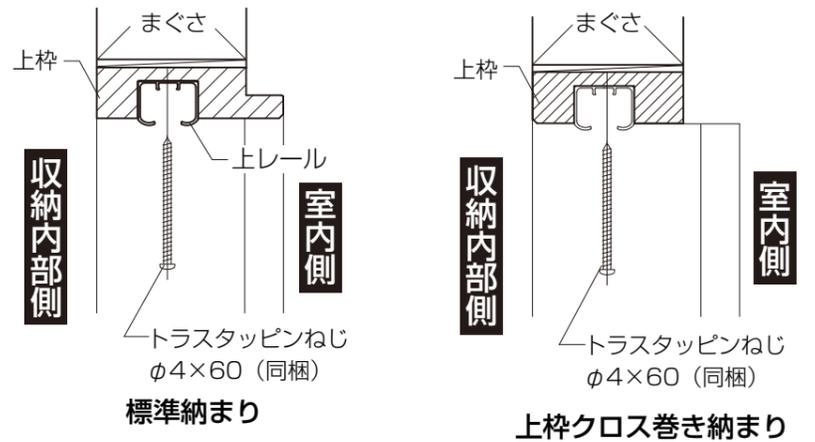
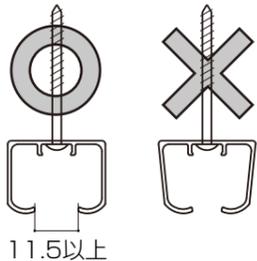


※中縦枠が曲がらないように注意してください。



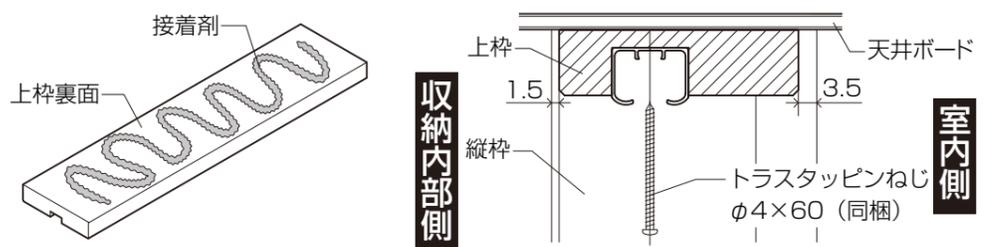
#### 上枠取付け上のお願ひ

- ※ 上枠取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の開閉不具合につながります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



### 【天井納まりの場合(天井施工済みの場合)】

- ※天井が施工前の場合は標準納まりと同様に3方枠を組立ててから取付けてください。
- 縦枠のみはじめに取付けます。(取付け詳細は標準納まりと同じです)
- 上枠裏面に木工用接着剤(現場手配)を塗布してトラスタッピンねじφ4×60で固定してください。



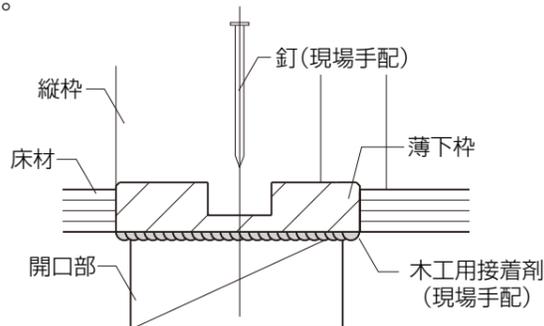
#### お願ひ

- ※枠の建付けはゆがみがないことを確認してください。ピボットタイプへ変更したとき、本体の開閉操作が重くなる場合があります。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

### ■薄下枠の取付け(つばなし薄下枠共通)

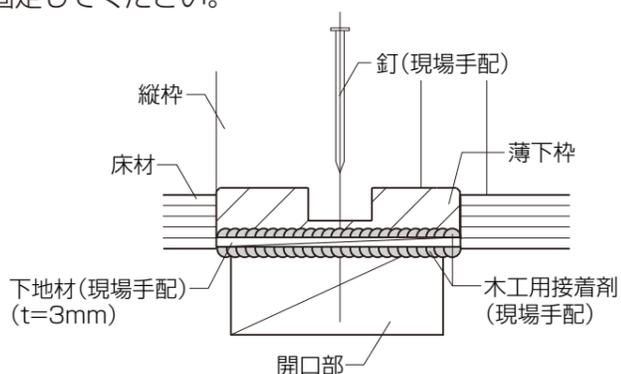
#### 【床材厚さ12mm】

※必ず薄下枠に木工用接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



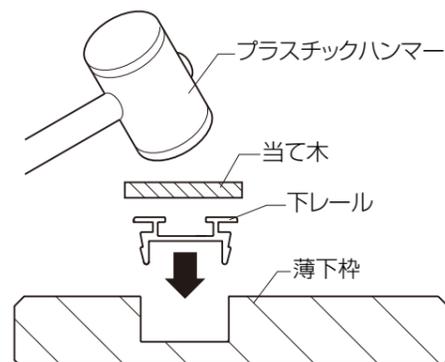
#### 【床材厚さ15mm】

※必ず薄下枠と下地材に木工用接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。

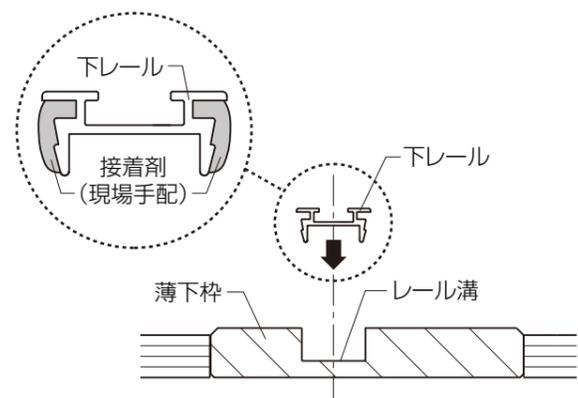


### ■下レールの取付け(薄下枠を使用する場合のみ)

- 薄下枠の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

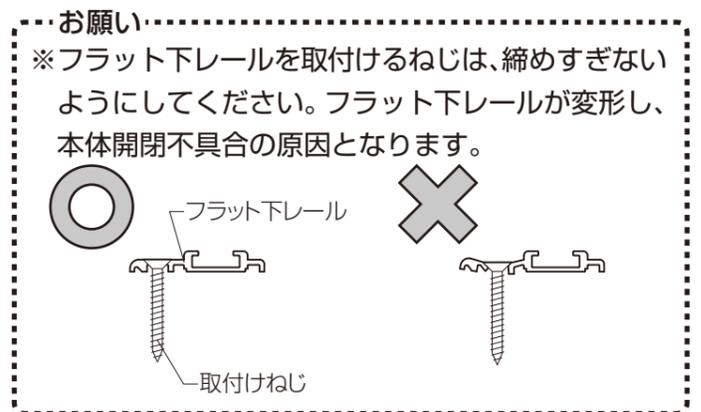
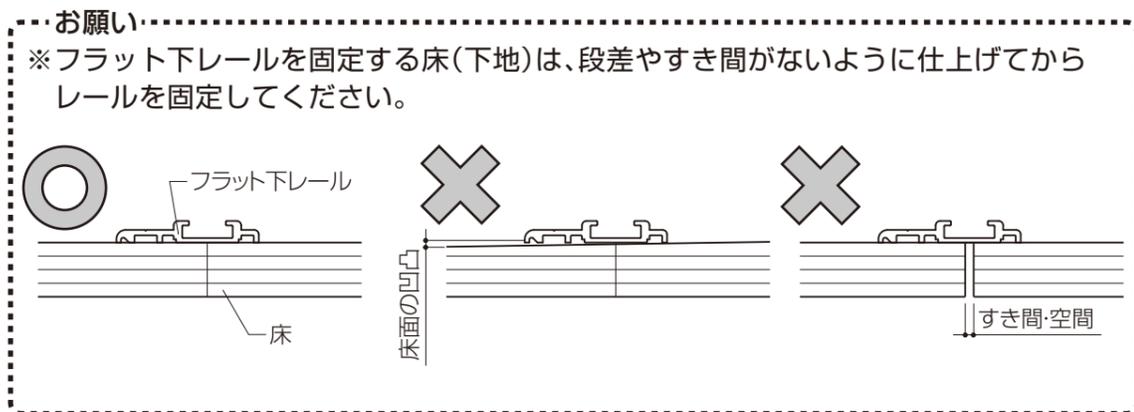
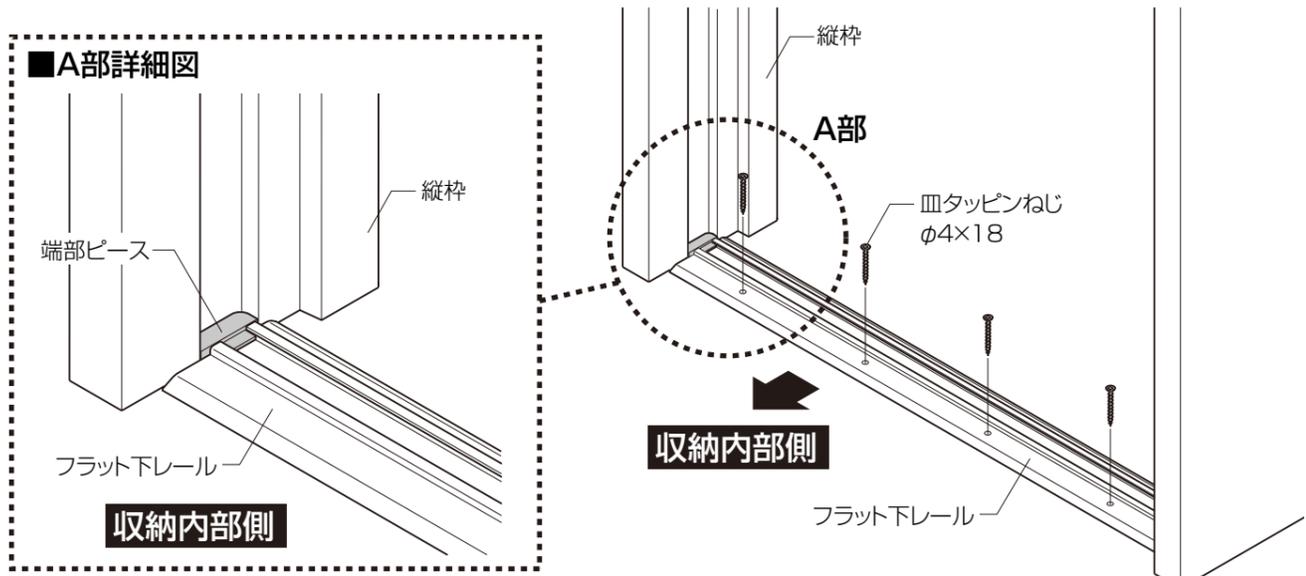


※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合で使用してください。



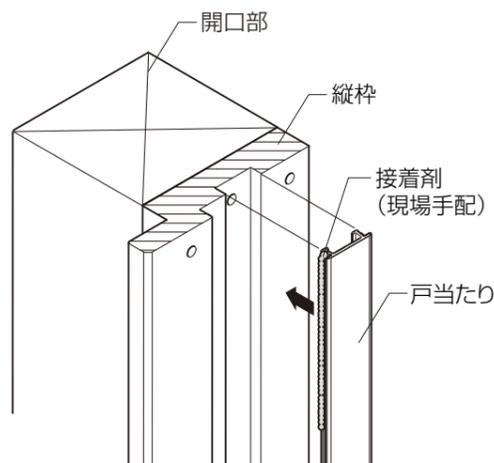
## ■フラット下レールの取付け

- ①A部詳細図のように、フラット下レールに同梱されている端部ピースをフラット下レールに取付け、縦枠戸じゃくり溝に合わせはめ込み仮置きしてください。
- ②フラット下レールをねじ(皿タップンねじφ4×18)で固定します。



## ■戸当りの取付け

- ①戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、下枠取付け後に取付けてください。  
戸当りを先に取付けると、フラット下レールが施工できなくなるおそれがあります。
- ※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。
- ※戸当りの接着は、必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



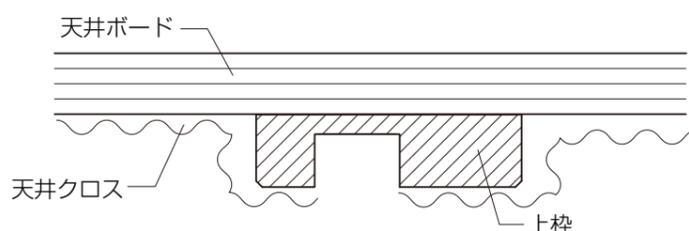
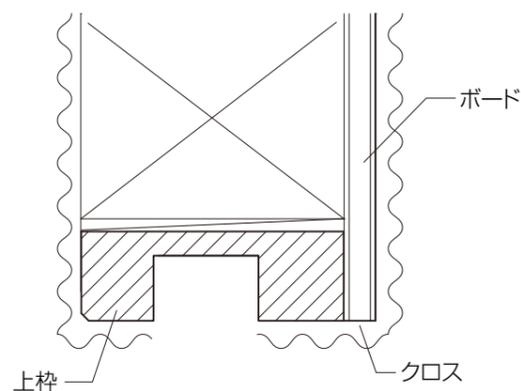
## ■上枠をクロスにて仕上げる(特別対応品)

### 【上枠クロス巻き対応の場合】

- ①壁ボードを施工後に壁クロスにて上枠を巻き込むように仕上げを行います。
  - ②上枠は、クロス貼り可能な紙シートにてラッピングしてありますので通常のクロスノリにて、クロスを貼ることができます。
- ※必要に応じて、ボードコーナ処理やボードと枠のすき間のパテ処理を行ってください。

### 【天井納まり対応の場合】

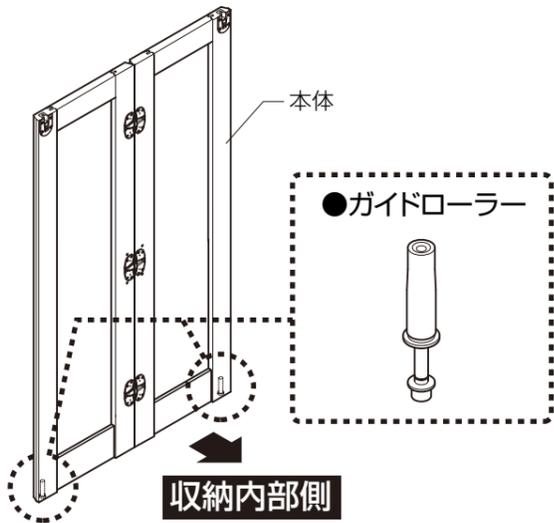
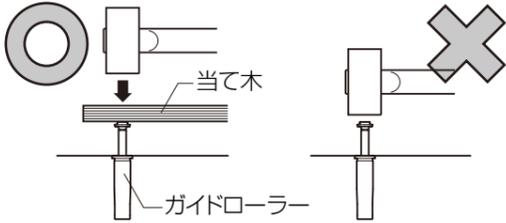
- ①天井クロスにて上枠を覆うように仕上げを行います。
- ②上枠は、クロス貼り可能な紙シートにてラッピングしてありますので通常のクロスノリにて、クロスを貼ることができます。



## ■本体の吊込み

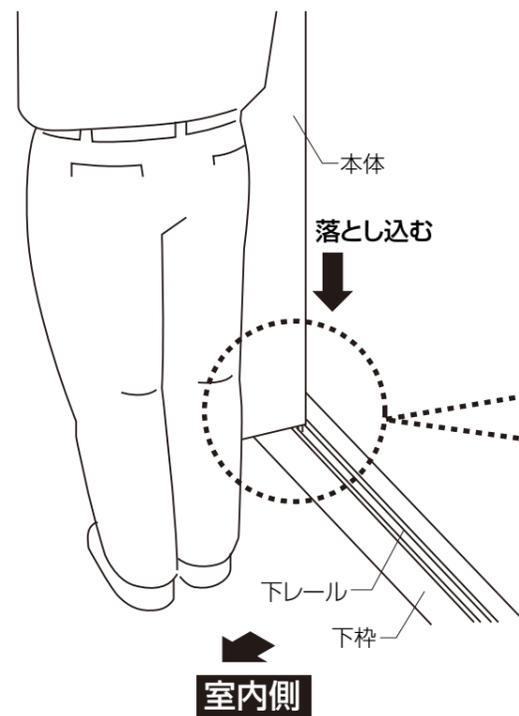
①ガイドローラーを本体下部の加工穴に圧入します。  
 ※ミラータイプの本体は、1つの枠の中に、1枚のみと  
 してください。

●お願い  
 ※ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て  
 木を使用してください。

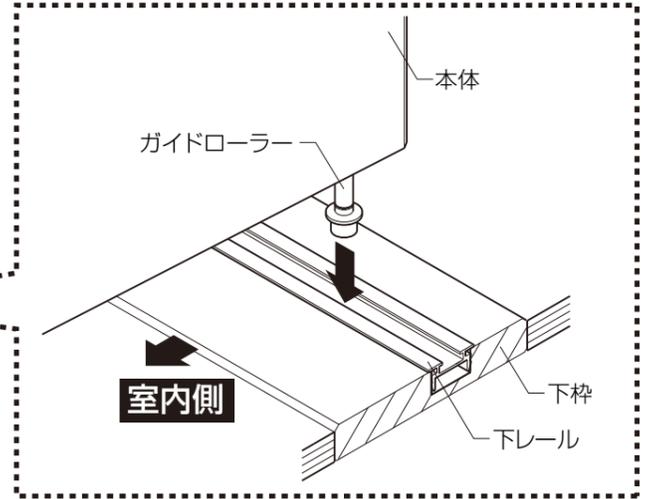
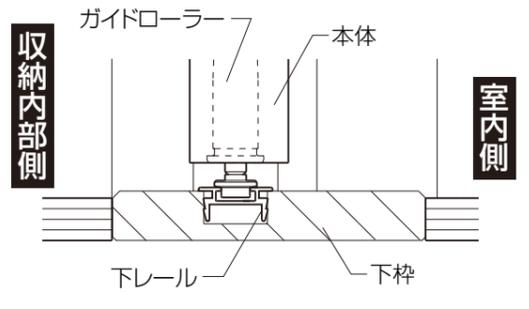


②ガイドローラーを下レールへ落とし込みます。

●お願い  
 ※ガイドローラーが下レールに入っている  
 ことを確認してください。  
 ※ガイドローラーで枠や床面などにキズを  
 付けないようにしてください。

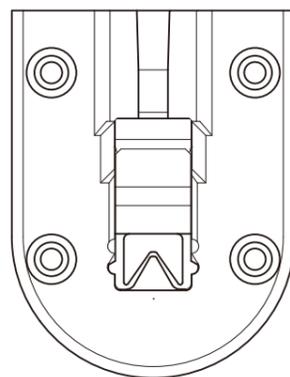


## ■薄下枠を使用する場合

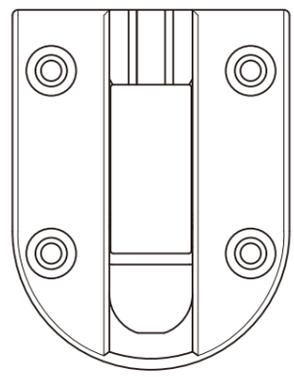


●お願い  
 ※本体上部に取付け済みの吊車受け部品形状をご確認ください。  
 形状によって、吊込み完了確認、本体の外し方の操作方法が異  
 なります。

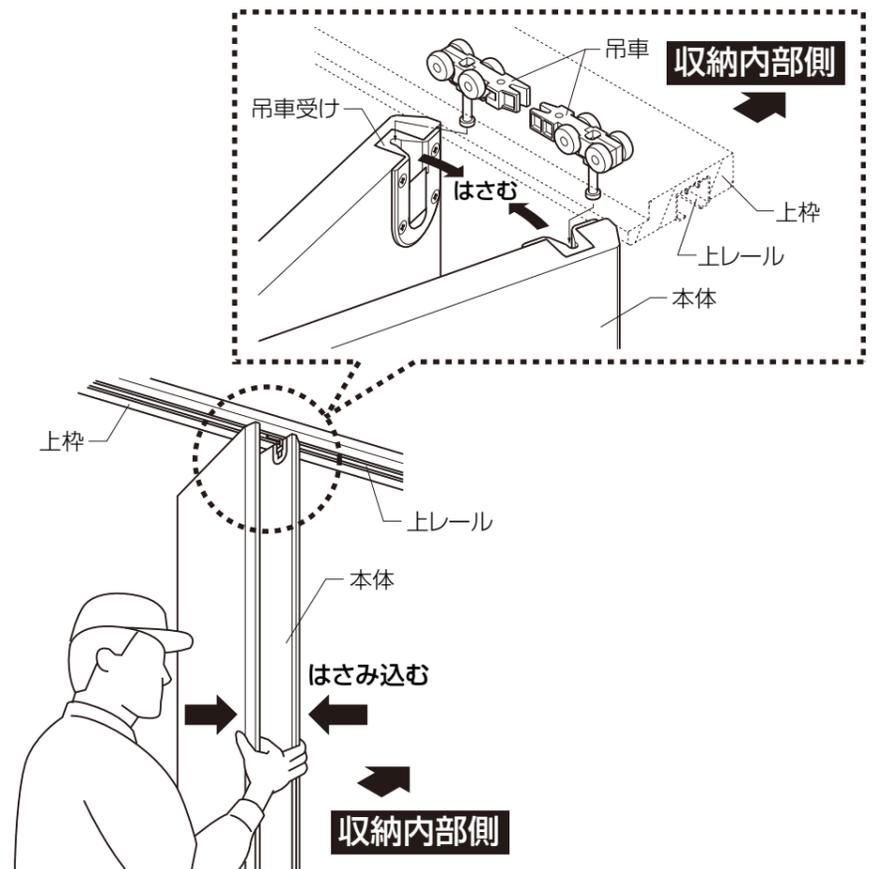
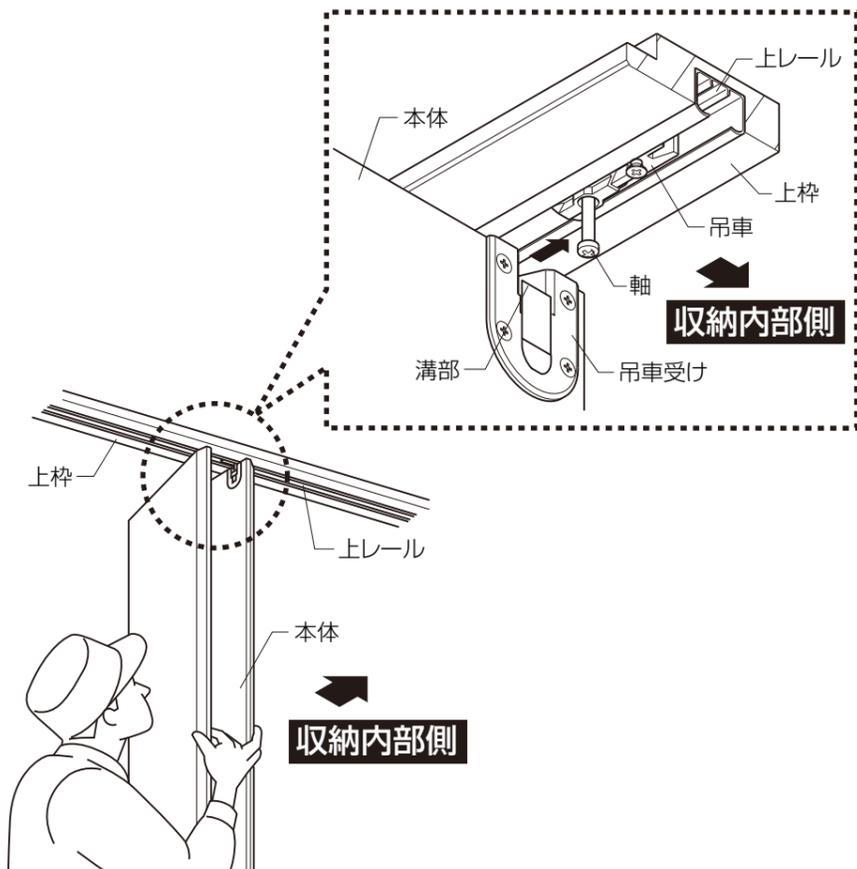
### A部品



### B部品



③本体上部の吊車受けの溝部に、上レールに取付けた吊車の軸を差込みます。 ④本体で左右からはさみ込むようにします。

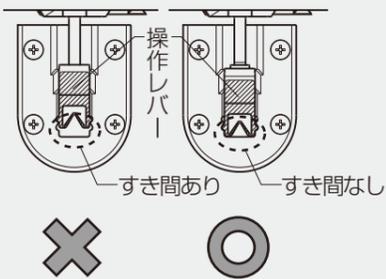


⑤本体をはさみ込んだまま、「ガチャ」と音がするまで上に持上げてください。吊車受けと吊車の軸が固定されます。

**▲注意**

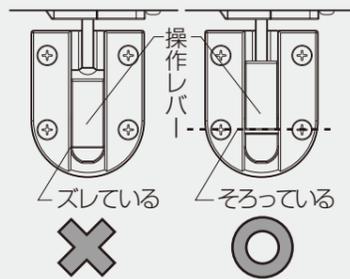
●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと本体が落下するおそれがあります。

**【A部品の場合】**

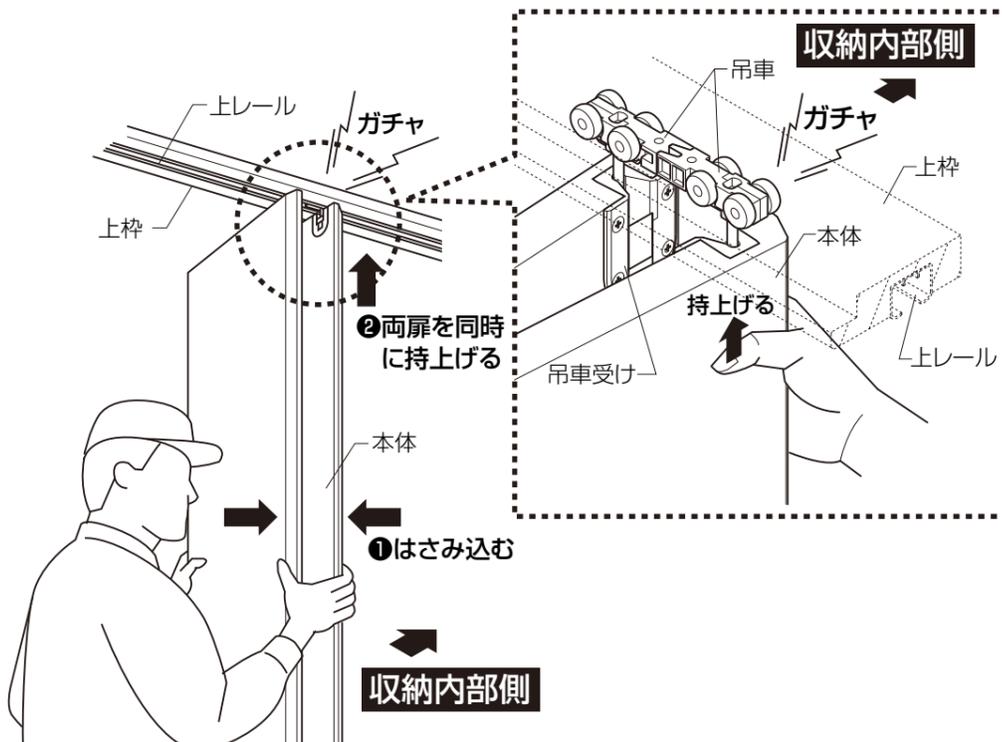


※吊込み完了は、操作レバーが下に下がっている状態です。(すき間なし)

**【B部品の場合】**



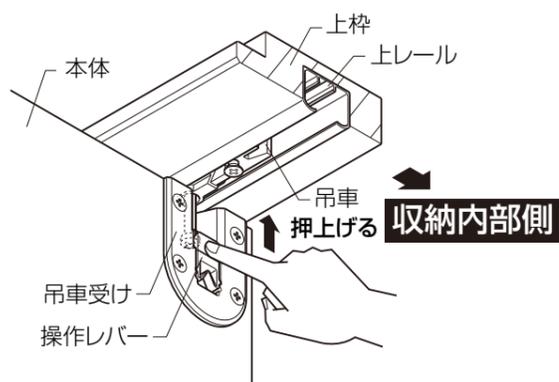
※吊込み完了は、操作レバーの下端がねじ中央位置とそろっている状態です。



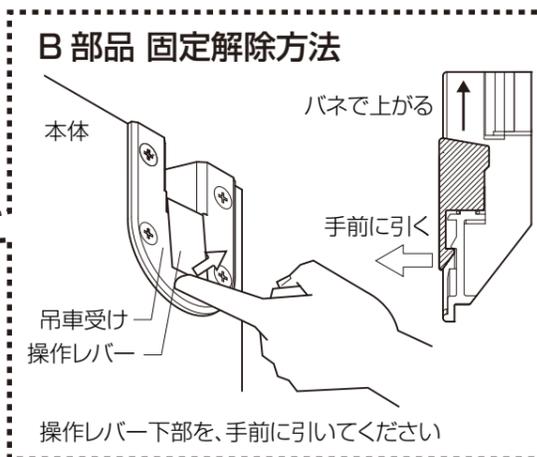
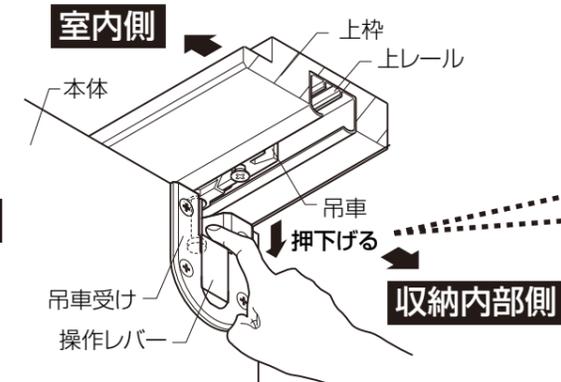
**■本体の外し方**

①本体上部の吊車受けの操作レバーを、固定されるまで動かしてください。

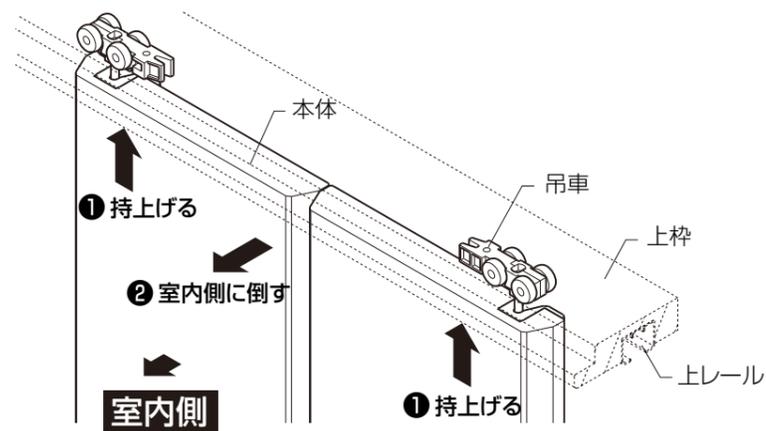
**【A部品の場合】**



**【B部品の場合】**



②本体を開いた状態で、本体を上を持ちながら室内側に倒してください。吊車の軸が吊車受けから抜け、本体が外れます。



**■把手の取付け**

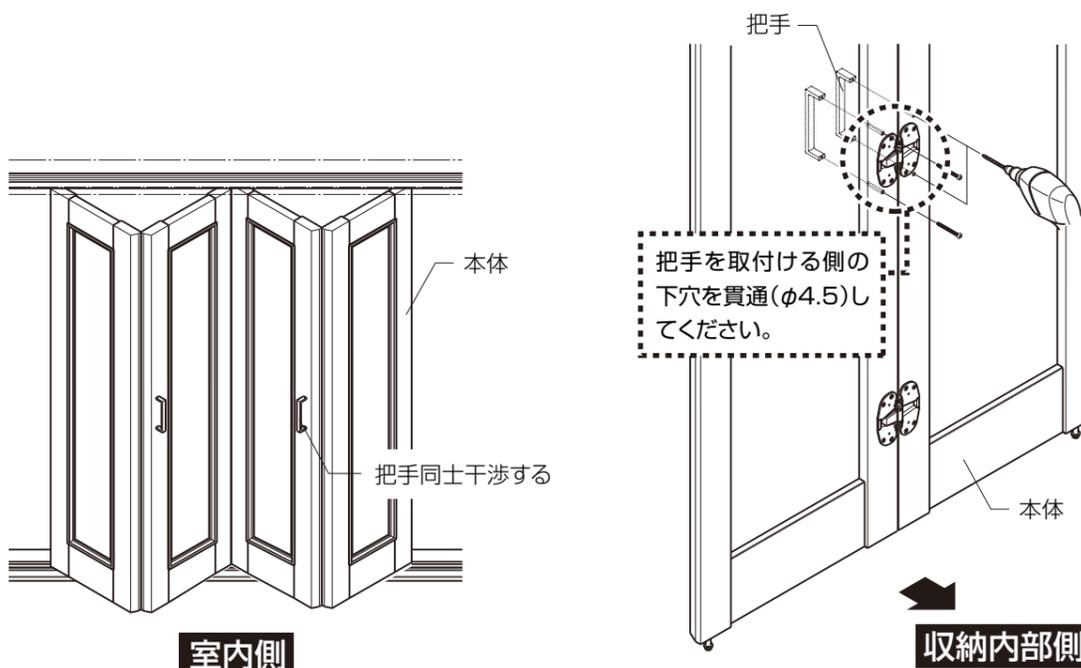
**【把手レスデザインの場合】**

※把手の取付けはありません。

**【把手の位置について】**

※ミラー付本体の場合、ミラー側の本体には把手が付きません。

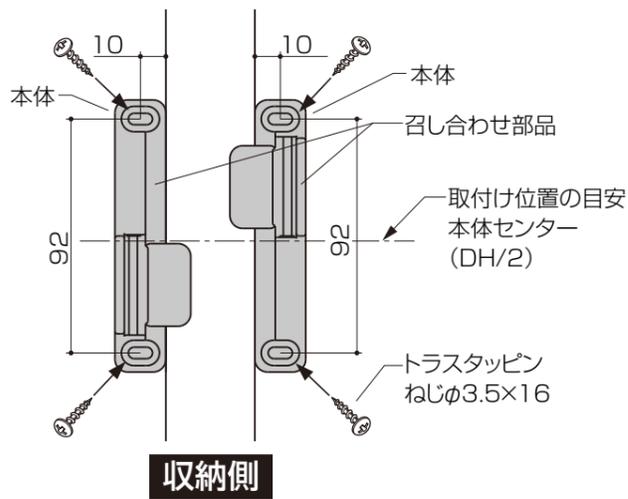
…把手取付け時のお願い…  
※フリータイプの際に本体を折った状態で、向かい合わせになる本体をそれぞれに把手を取付けると、把手同士が干渉してキズが付くおそれがあります。



## ■本体召し合わせ部品の取付け

※本体中央部に召し合わせ部品を取付けます。図の取付け寸法を目安とし、下穴( $\phi 2.5 \times 16$ )をあけ、同梱のねじにて取付けてください。

**お願い**  
※中央部の取付け位置は、隣り合う本体の段差が、目立つ位置に取付けてください。

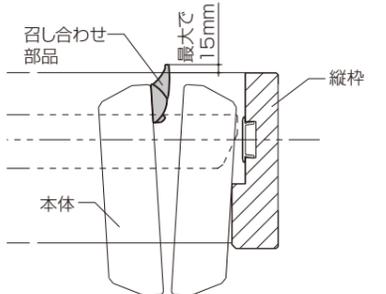


## ●召し合わせ部品

W12~W18M	
W24~W27M	
W34	

## 【納まりについて】

本体裏側の召し合わせ部品は、枠端部から最大で15mmはみ出します。収納内部側に棚や収納部材を配置する場合は枠から15mm以上離し、召し合わせ部品と干渉しないようにして下さい。

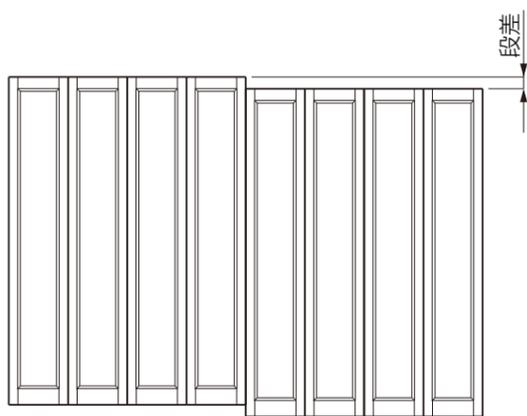


## ■建付け調整

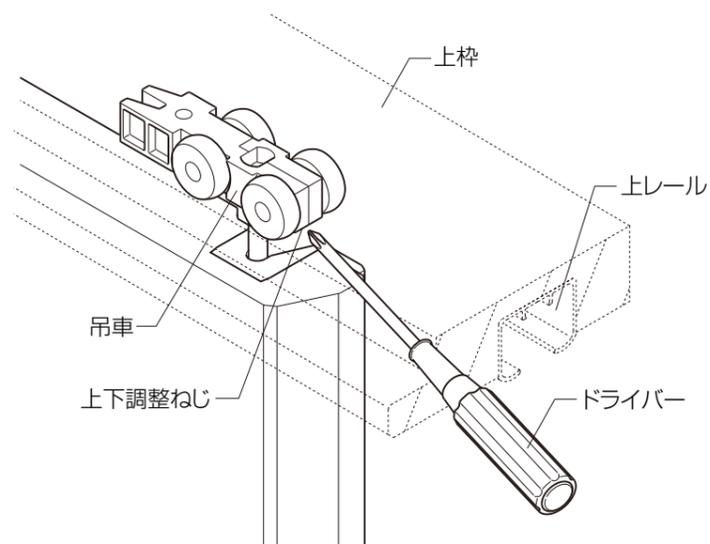
※本体の段違い(上・下)を調整します。

### 【段違い(上・下)の調整】

●本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。(上下調整量+6mm -0mm)

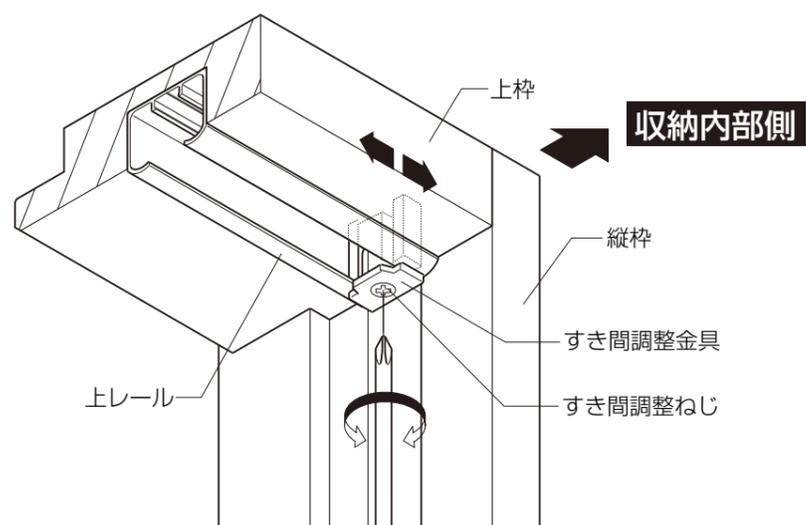
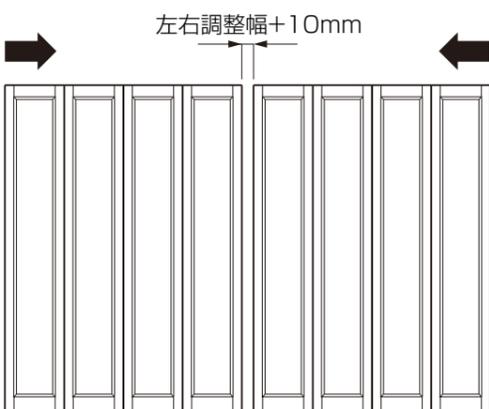


室内側



### 【すき間(左・右)の調整】(フリータイプの場合)

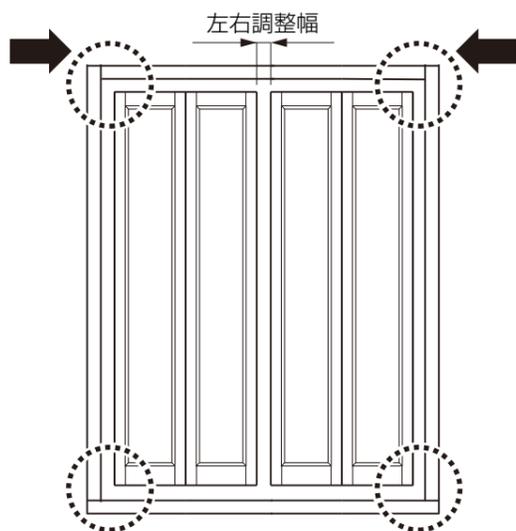
●本体間のすき間が大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているすき間調整金具で調整できます。すき間調整ねじをドライバーで回し、調整してください。すき間調整ねじを右に回すと、すき間が小さくなります。  
注)すき間調整金具は、上レールの左右に付いています(W07は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。



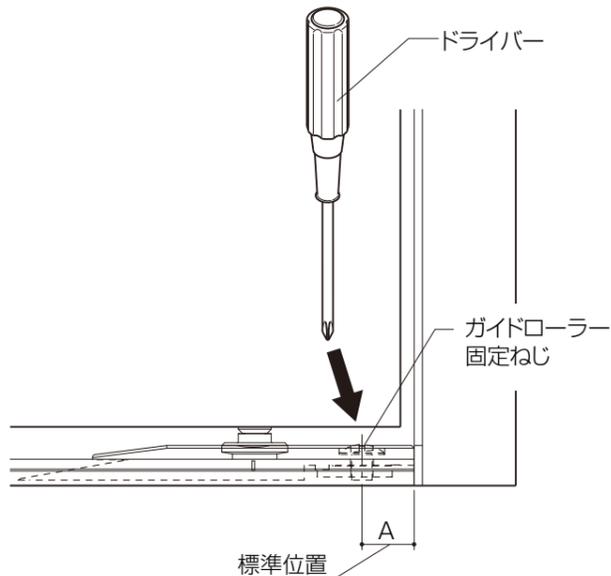
収納内部側

### 【すき間（左・右）の調整】（ピボットタイプの場合）

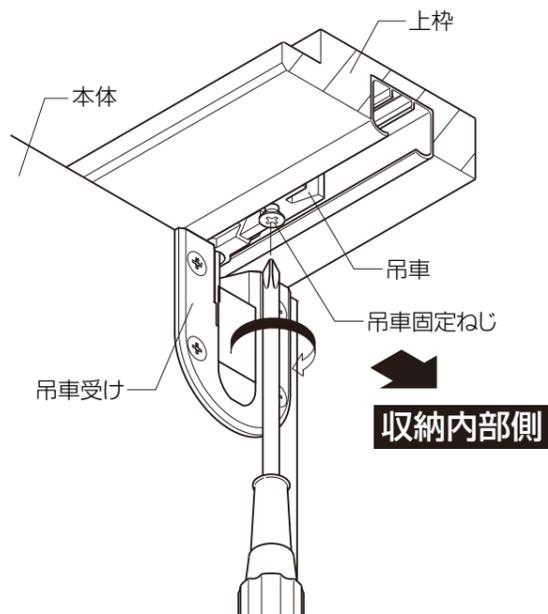
- ガイドローラー固定金具（本体用部品セット同梱）の取付け方法は【フリー→ピボットの変更】を参照してください。
- 本体間のすき間が大きい場合、吊車及びガイドローラー固定金具で左右調整を行います。



- 本体をずらしてガイドローラー固定金具の固定ねじをプラスドライバーでゆるめて移動させます。

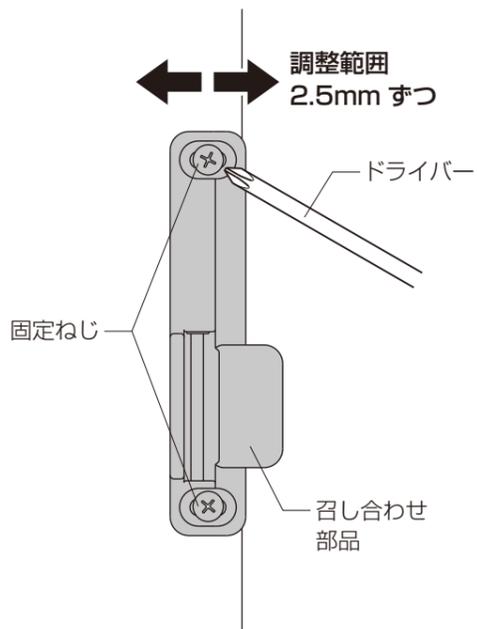


- 吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



### 【召し合わせ部品の調整】

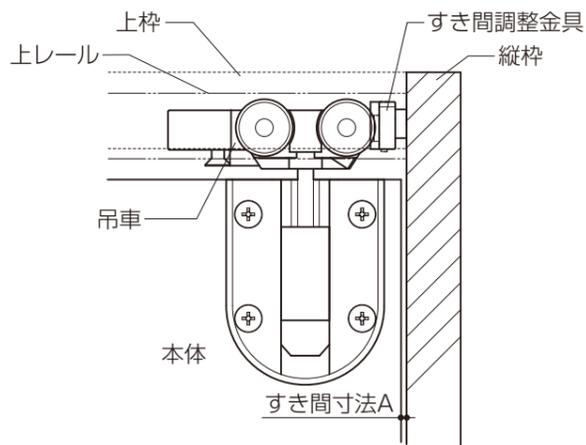
- 固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。



### 【フリー→ピボットの変更】

#### ●本体上部の固定

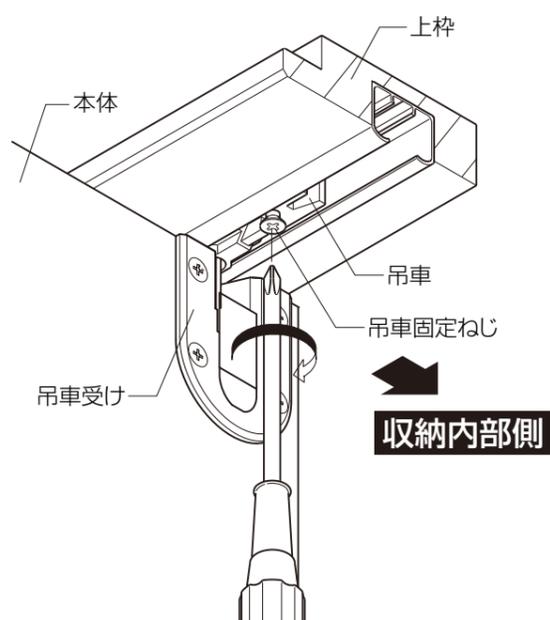
- ①本体をピボットにしたい位置まで移動させます。
- ②固定したい本体側の上部吊車に付いている”吊車固定ねじ”を回し、吊車が固定されるまでねじを回します。
- ③本体を左右にゆすって本体が固定されたかどうかを確認します。



収納内部側

### 【ピボット→フリーの変更】

- ①吊車の吊車固定ねじを、ねじの回転が重くなるまでゆるめてください。緩める量が少ないと吊車の動きが悪くなり開閉不具合の原因となります。
- ②ガイドローラーをガイドローラー固定金具から外し、ガイドローラー固定金具の固定ねじを緩めてレールから外してください。このとき、ガイドローラーは必ず下レールにはめ込んでください。

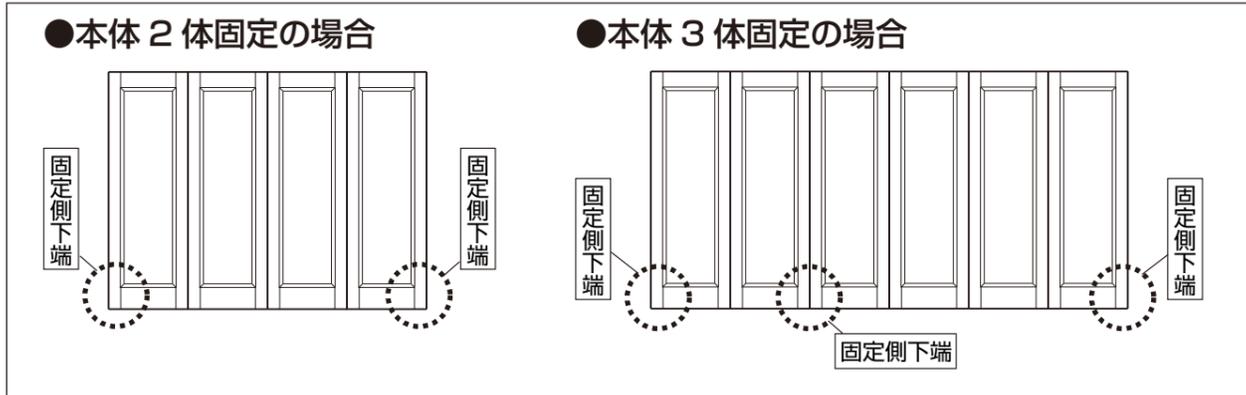


収納内部側

	すき間寸法A(mm)
本体1Pの時(W07)	3.5
本体2Pの時(W12、16)	4

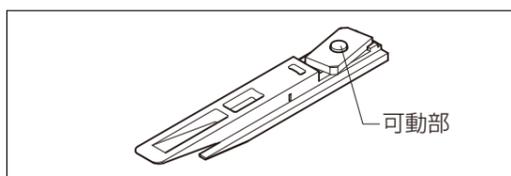
## ●本体下部の固定

※ピボットタイプとして本体を使用する場合は、ガイドローラー固定金具(本体用部品セット同梱)を用いて本体固定側の下端を固定してください。



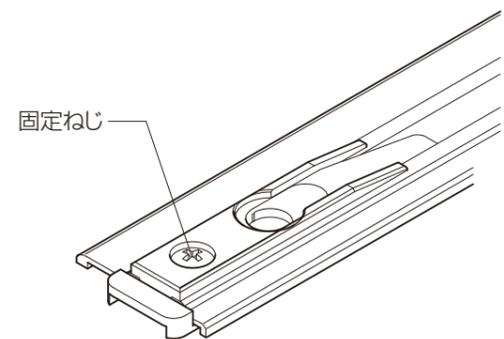
- ①本体を正しい位置に移動させて、本体垂直がでているか確認します。
- ②ガイドローラー固定金具可動部を下図のように長手方向に向けます。
- ③ガイドローラー固定金具可動部を長手方向に保ったまま下レールに取り付けます。  
固定ねじをプラスドライバーにて締め付けてください。

### ●ガイドローラー固定金具

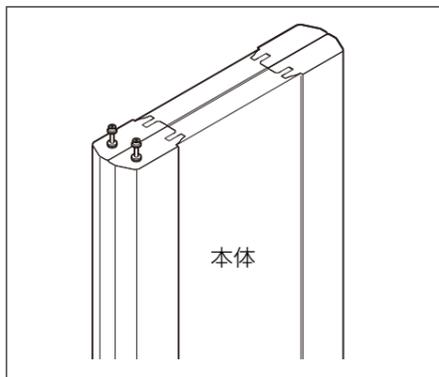


### ●ガイドローラー固定金具使用数量

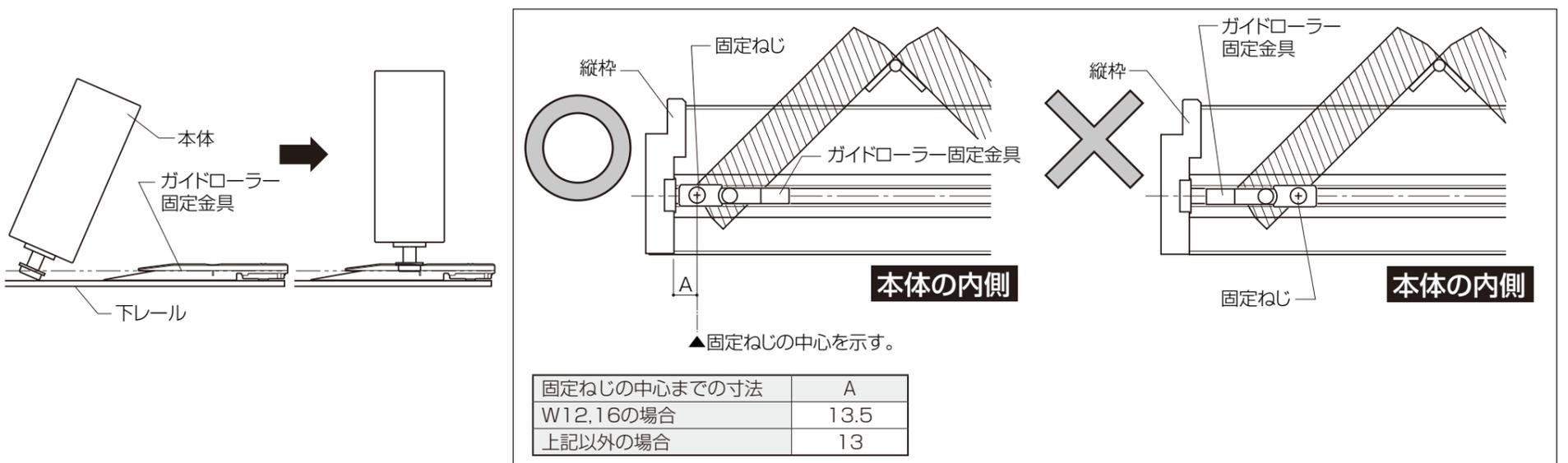
	数量
本体1体固定の場合	1個
本体2体固定の場合	2個



- ④本体のガイドローラーをガイドローラー固定金具に取り付けます。
  1. 下図のように本体をたたみます。
  2. ガイドローラーがガイドローラー受けにはまる(「カチッ」と音がする)まで本体を立てます。
  3. 別の本体も同じ手順で吊込んでください。

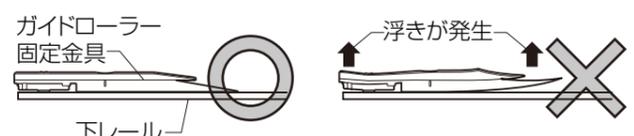


- ⑤ガイドローラー固定金具の取付け向きは、下図のように固定ねじが本体の外側になるよう、取付けてください。ガイドローラー固定金具の固定位置は、下図を参照してください。
- ⑥固定ねじをプラスドライバーで右に回します。ガイドローラー固定金具が動かないよう固定されたかどうか、確認してください。



※固定ねじの締めすぎにご注意ください。

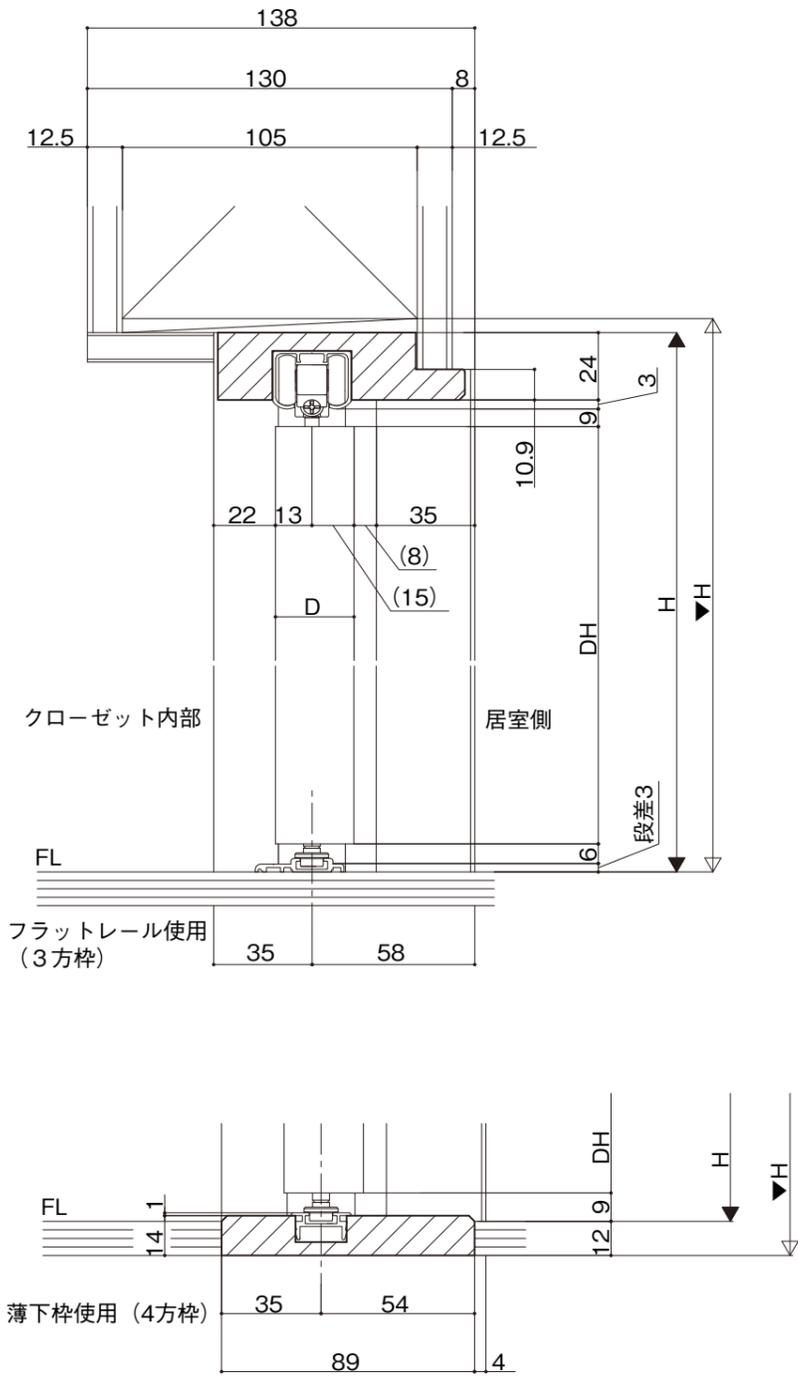
ガイドローラー固定金具を変形させると本体と干渉し本体やガイドローラー固定金具の破損につながります。ねじの締めすぎによりガイドローラー固定金具が下レールより浮き上がっている場合は、ねじをゆるめてください。



■納まり図

【クローゼット折戸ユニット スマート枠】

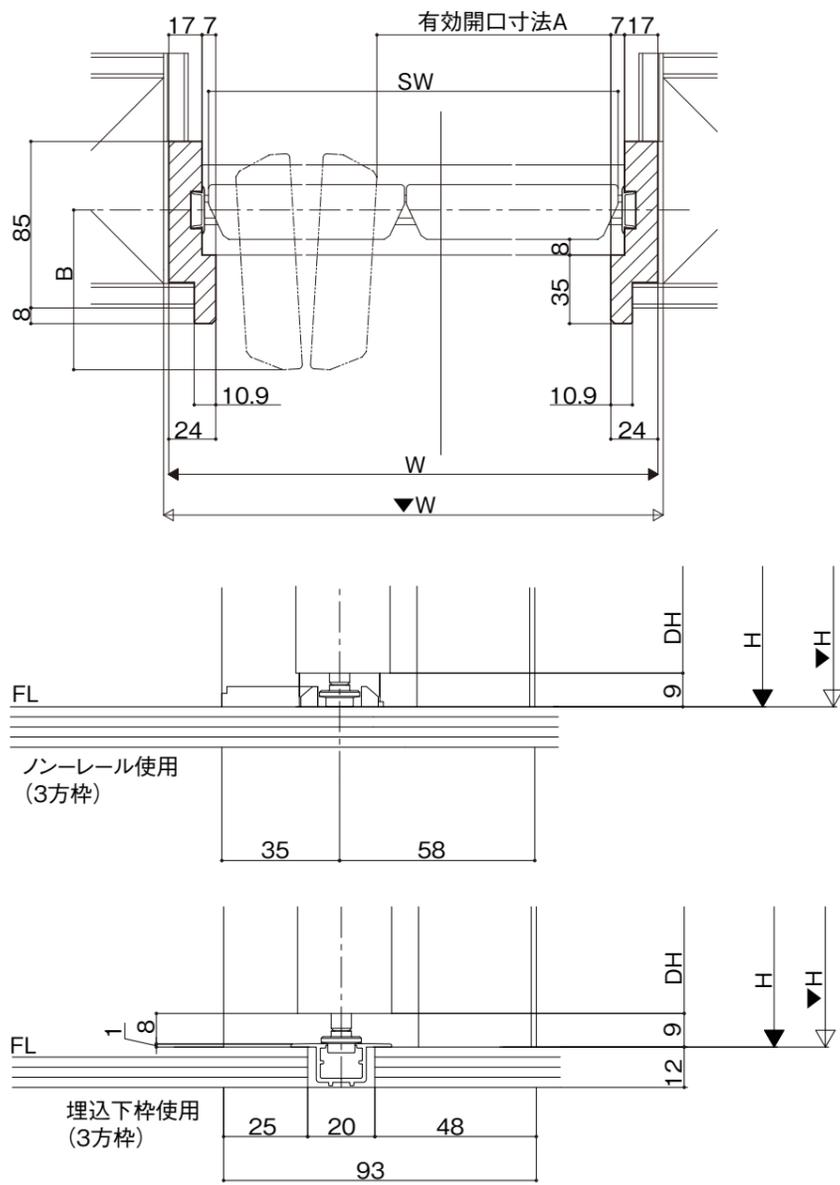
■縦断面図



基本 寸法 (mm)	W呼称	07	12	16
	W(SW)	734(693)	1183(570)	1643(800)
	H呼称	20	23	24(天井納まり)
	H(DH)	2023(1978)	2306(2261)	2400(2355)

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W07(734)	566	322
W12(1183)	894	261
W16(1643)	1355	376

■横断面図



天井納まり縦断面図

